

Display Conversion Kit

ディスプレイコンバージョンキット取扱説明書 '07.01-1

取り付け方法(取り付け業者様へ)

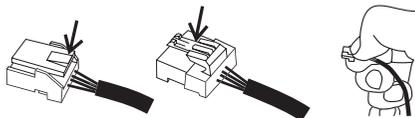
警告

取り付け・取り扱いについては、「取り付け作業をする前に」、「取り扱いに関して」をよくお読みいただき、安全に正しくお取り付けください。誤った取り付け箇所、取り付け方法は、脱落や車両破損の原因となり大変危険です。

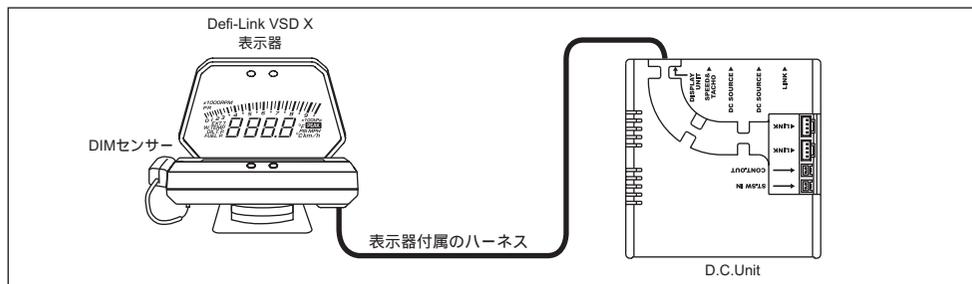
注意

取り付け・取り扱いについては、Defi-Link Control Unit II(又はDefi-Link Control Unit)の取扱説明書も併せてご覧ください。また、電源・信号の配線については同梱の車種別接続ガイドやWebサイトの車種別接続ガイドを併せてご覧ください。

無理にコネクタを引っ張ると、断線したりコネクタが破損する恐れがあります。コネクタを抜く際は、ロックを確実に押しながらかいてください。また、コネクタによってロックの位置が異なりますので、ご注意ください。



ステップ1 配線



- 1) 使用中のDefi-Link Display VSD CONCEPTの表示器を取り外し、表示器ハーネスをD.C.UnitのDISPLAY UNIT端子から抜きます。
- 2) 本コンバージョンキットの表示器ハーネスをD.C.UnitのDISPLAY UNIT端子に接続します。
- 3) 車両の電源を入れ、表示が出ることを確認してください。

ステップ2 表示器・DIMセンサーの取り付け

警告

誤って取り付けした場合、本製品の脱落や車両破損の原因・運転の妨げとなり大変危険ですので、以下のことを守ってください。
・製品は運転の妨げにならない位置へお取り付けください。
・運転中に各ユニットがはずれないようにネジと両面テープを使って確実に取り付けてください。
表示器を取り付ける際は、取り付け位置を必ずお客様に確認していただき、運転の妨げにならない位置へお取り付けください。

注意

ターゲットスクリーンに巻いてあるゴムは外さないでください。ターゲットスクリーンの端面が鋭利で危険です。ゴムが外れた場合は付け直してください。

確認

真夏の炎天下に車を放置する場合は、表示器に白い布等をかけていただくと、表示器の劣化防止になります。両面テープで貼り付けるときは、貼り付ける場所のゴミ、油分、水分をきれいに拭き取ってからご使用ください。ターゲットスクリーンには触らないでください。ターゲットスクリーンが汚れた場合は、乾いた柔らかい布などで傷つけないように拭いてください。大きな異物が付着した場合は、異物をテープなどで取り除いてから拭いてください。

表示器の取付角度



ドライビングポジションからターゲットスクリーンを見たときに、ターゲットスクリーンの両脇にある角と角を結んだ線に表示の下端が一致するように、取付台の角度を調整して表示器を設置してください。この角度が、表示の反射が最も明るく見える角度です。必ず実際に運転する方のドライビングポジションを確認し、そのポジションに合わせて角度を決めてください。

取付台・取付金について

表示器を設置する際は、取付台と取付金の2個の部品を組み合わせて角度や向きを調整します。

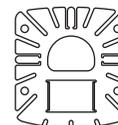
取付台・・・表示器の下に付いている部品です。

取付金・・・付属品セットの袋に入っている金具です。

取付台は360°回転し、取付金は約40°動きます。取付位置やインパネの形状に合わせて取付台と取付金を固定します。

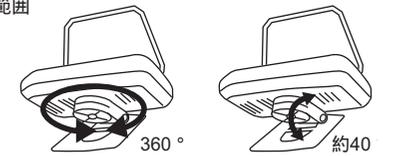


取付台



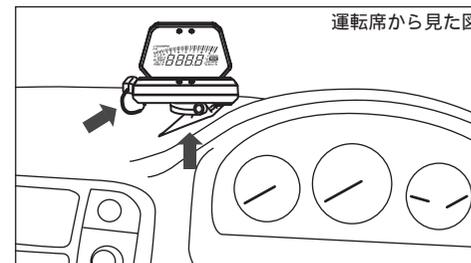
取付金

可動範囲



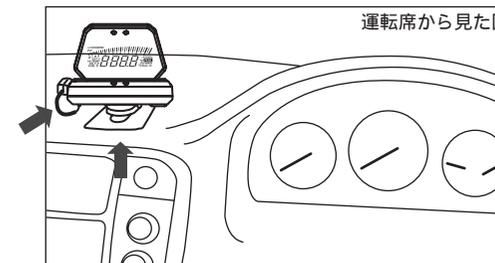
表示器取付台の設置例

【A】取付面が奥(フロントガラス)の方に向かって下がっている + 左側に向かって下がっている場合

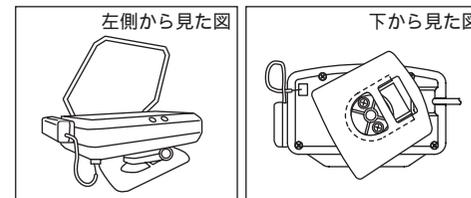


運転席から見た図

【B】取付面が手前(運転席)の方に向かって下がっている場合



運転席から見た図



左側から見た図

下から見た図



左側から見た図

下から見た図

④表示器・DIMセンサーの取り付け

※DIMセンサーは必ず付属のものをご使用ください。

1) 付属のボルト・ナット・ワッシャーを使って、取付金を取付台に仮締めします【図1】。ボルトを締める際は六角レンチを使用してください。その後、取付台が回る程度に取付台のネジを緩めます【図2】。

2) 表示器を取り付ける位置を決めます。イグニッションをオンにし、表示をターゲットスクリーンに映しながら表示が最もよく見える位置・角度を探します。このとき、取付金の角度をかえたり、取付台を回しながら取付位置を決めます。取り付け位置が決まったら、その場所に粘着テープ等で印を付け、イグニッションをオフにします。(取付台・取付金について、表示器取付台の設置例参照)

3) 取付台を本締めします【図2】。

4) 表示器を取付金から一旦取り外し、取付金の裏面に付属の両面テープを貼り付け、取り付けたい場所の形状にあわせて取付金を曲げて貼り付けます。その後、脱落しないように付属のタッピンネジで取付金を固定します【図3】。

両面テープで貼り付けるときは、貼り付ける場所のゴミ、油分、水分をきれいに拭き取ってからご使用ください。

5) DIMセンサーを表示器の裏側にあるDIMセンサー接続用コネクタに差し込みます。

※DIMセンサーは表示器と一対一で特性を合わせて出荷されていますので、必ず付属のものをご使用ください。

6) 取付金に表示器をはめ込み、六角レンチで本締めします。

7) DIMセンサーの裏側に両面テープを貼り、ハーネスの出ていない方を進行方向に向けて表示器の側面に固定します【図4-1】【図4-2】。

センサーの取付方向を間違えないようご注意ください。

センサーの水平前方方向がワイパーなどでさえぎられない位置に固定してください。

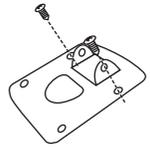
【図1】取付金をボルトで取り付ける



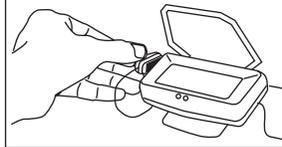
【図2】取付台のネジを緩める・締める



【図3】タッピンネジで取付金を固定する

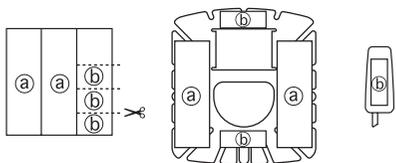


【図4-1】DIMセンサーを固定する

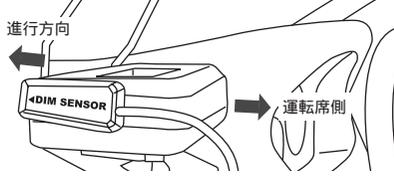


両面テープの使い方

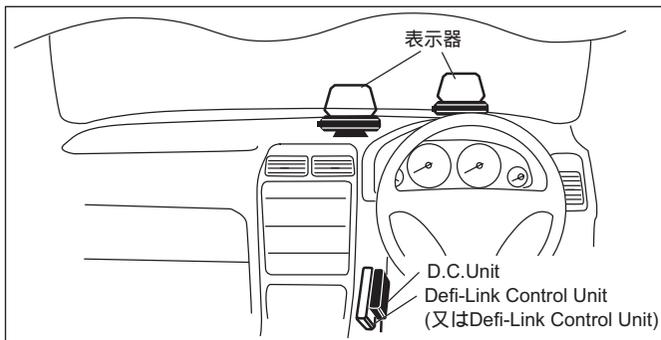
付属の両面テープは下図のように取付金とDIMセンサーに貼り付け使用します。



【図4-2】DIMセンサーの取付方向



取付完成例



操作方法についてはDefi-Link Display VSD CONCEPTの取扱説明書をご参照ください。